

## 災害時の「食べる」を支える 保健師の役割

保健師 奥田 博子

(国立保健医療科学院 健康危機管理研究部)

災害時の『食べる』を支えるシンポジウム、2016年3月12日、東京医科歯科大学

## 本日も話したいこと

- 保健師とは (自治体の保健師)
- 東日本大震災 保健師の保健活動
- 「食べる」を支えるため  
保健師による支援 実際
- 「食べる」を支えるため  
保健師による支援 今後必要なこと

奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム、2016年3月12日、東京医科歯科大学

## 保健師とは・・・



- ・保健師とは厚生労働大臣の免許を受けて、保健師の名称を用いて**保健指導**に従事することを業とするものをいう。

(保健師看護師助産師法 第2条)

- ・保健師でない者は、保健師又はこれに類似する名称を用いて、第2条に規定する業をしてはならない。

(保健師看護師助産師法 第29条)

奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム、2016年3月12日、東京医科歯科大学

## 保健師による公衆衛生看護活動とは

当事者が、自らの健康課題を解決するプロセスへの援助を核とし、地域を基盤に健康課題をとらえ、**予防につながる組織的な取り組み**を担い、公的責任を志向する公衆衛生看護専門職である。

奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム、2016年3月12日、東京医科歯科大学

## 災害時における保健師の役割

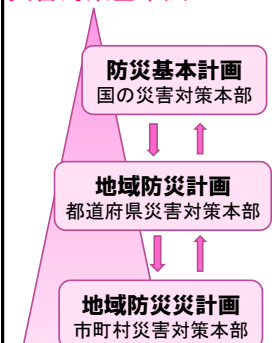
- 自治体行政職員としての役割
  - ✓ 災害救助法
  - ✓ 災害対策基本法
 役割: 所属自治体、派遣先自治体
- 専門職(公衆衛生看護職)としての役割
 

災害が地域健康課題へもたらす影響を考慮し地域住民の生命と健康の被害を最小限にとどめるための予防を含めた継続的な活動

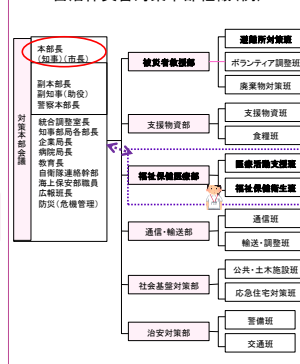


奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム、2016年3月12日、東京医科歯科大学

## 自治体行政職員 災害対策基本法



## 自治体災害対策本部組織(例)



奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム、2016年3月12日、東京医科歯科大学

### 今までの被災地への保健師派遣状況

	阪神・淡路大震災	新潟県中越前大震災	新潟県中越中地震	東日本大震災
発災状況	1995年1月17日 M7.3	2004年10月23日 M6.8	2007年7月16日 M6.8	2011年3月11日 M9.0
死者・行方不明者	6,402人	67人	11人	19,996人※1
最大避難者数	316,678人	103,000人	12,483人	368,739人※2
最大避難所数	1,153箇所	603箇所	116箇所	1,874箇所※3
派遣活動開始日	15日目～	4日目～	3日目～	3日目～
派遣投入保健所	12保健所	4保健所	1保健所	14保健所
派遣延べ人数	9,732人	5,585人	3,538人	岩手県 宮城県 福島県
活動期間	150日	61日	51日	
1日あたり派遣者最 多者数	115人 被災1ヶ月後	140人 被災27日目	119人 被災17日目	299人 被災42日目

出典: 奥田博子, 自然災害時における保健師の役割. J Nat Inst Public Health, 57(3) 2008, p.216. 内閣府HPより  
※1 9月6日現在の数 ※2 ※3 最大ではなく、被災1週間後の数

奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム, 2016年3月12日, 東京医科歯科大学

### 災害時における保健師の役割

平常時	発災 フェーズ0～1～2～	復興期
	災害救助法適応 → → → 解除	
	被災地職員対応 多種多様な支援者の急増 (支援者との協働支援) 支援者活動の 終了・撤退	
地域特性に応じた保 健活動	災害時支援活動 通常業務一部再開 全再開	地域特性 被災後の影響を考慮 した保健活動 終了?

奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム, 2016年3月12日, 東京医科歯科大学

### 被災直後に守られた 生命と健康

寂しさや酒に溺れる栄養←閉じこもり  
減らぬ孤独死  
喪失感、ダメージ深刻

出典: 神戸新聞 H8.1.15.

#### 守り抜くための支援 予防

〈身体面〉

震災による受傷、後遺症  
既往症等の悪化  
感染症  
深部静脈血栓症  
脳膿瘍肺炎

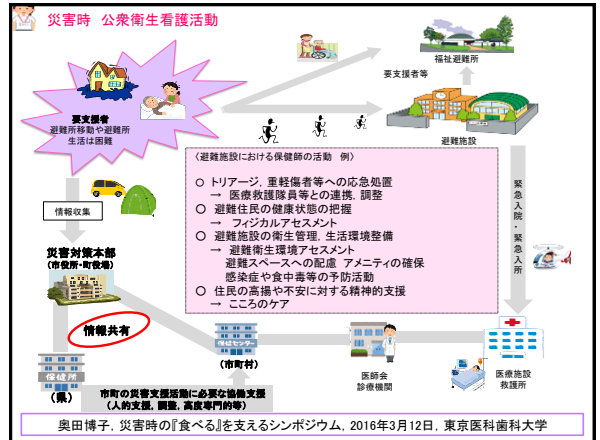
〈社会面〉

アルコール依存症  
孤独死

〈心理面〉

ストレス関連障害  
PTSD

奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム, 2016年3月12日, 東京医科歯科大学



### 東日本大震災時 保健師による主な支援活動

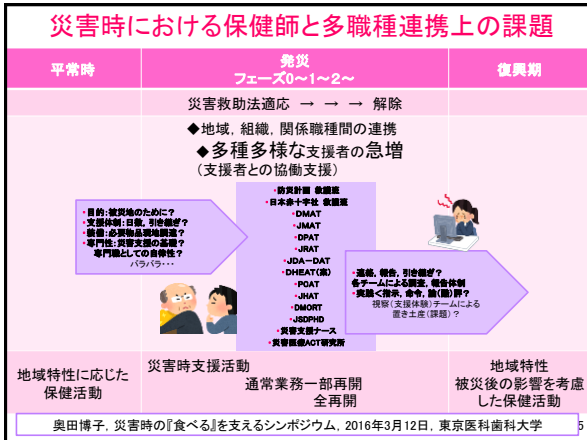
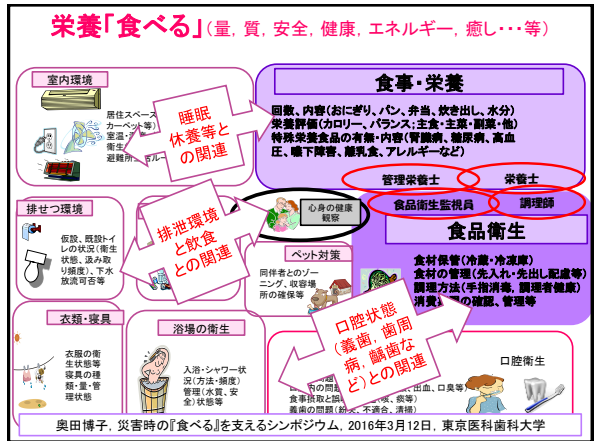
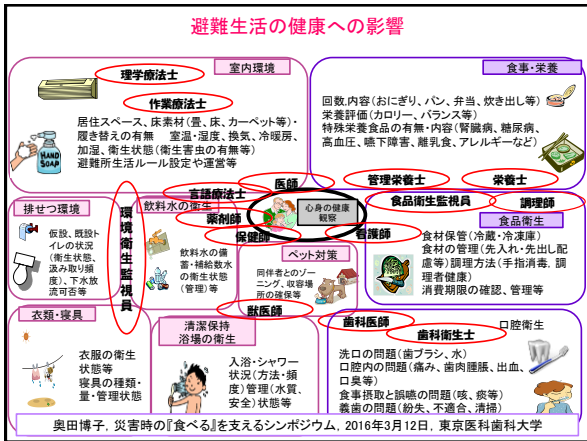
フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3
避難、救出支援		
医療救護; トリアージ、救護所設置、診療介助 医療、保健、福祉のニーズに関するアセスメント 医薬品や医療衛生材料等の確認及び調達		
安否確認、要援護者対策; 避難所・福祉避難所、地域巡回 ・避難者、避難環境等の状態のアセスメント ・緊急入院及び入所の必要性の判断と処遇検討 ・必要な衛生材料等の調達及び診療介助等の実施		
	健康管理、衛生管理; 避難所、居宅、地域巡回 ・健康管理(健康相談、訪問面接など) ・普及、啓発活動(健康教育など)	
	コミュニティ支援; 応急仮設住宅、地域巡回 健康支援、交流の場	
		情報収集・発信、関係者連携・調整

奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム, 2016年3月12日, 東京医科歯科大学

### 災害時「食べる」を支える保健師の主な支援の実際

フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3
安否確認、要援護者対策; 避難所・福祉避難所、地域巡回 ・避難者、避難環境等の状態のアセスメントおよび支援		
◆ 栄養に関する状況等の把握と支援 ・食糧(需要と供給の実際、食糧調達など) ・食に関する個別支援 健康管理(健康相談、訪問面接など) ・食品に配慮を要する→ 特殊栄養食品等 ・「食べる」行為に配慮を要する→ 介護、口腔状態		
◆ 食生活環境、食に関する衛生管理 栄養の提供状況(配食、炊き出しなど) 食材の保管など衛生面 普及、啓発活動(健康教育など)		
◆ 「食べる」を可能にする、基本的ニーズ充足への支援 高揚や不安に対する支援(こころのケア) 安眠、休息、軽い運動(習慣)		
		コミュニティ支援; 応急仮設住宅等 健康(「食べる」含む)を切り口とした 健康支援と交流の場づくり
		平常業務再開; 生活習慣病対策等

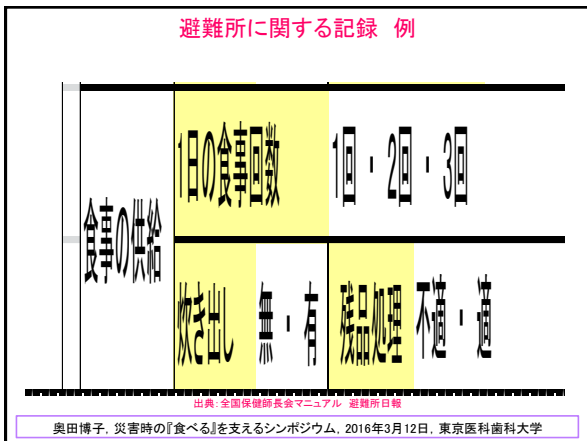
奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム, 2016年3月12日, 東京医科歯科大学



### 避難所に関する記録 例

項目	内容	状況
管理栄養士による被災者の情報	被災者の状況	有・無
避難所内での食料・飲料の管理状況	食料の管理	有・無
飲料水の衛生	飲料水の衛生	有・無
トイレ	トイレ	有・無
洗濯機	洗濯機	有・無
炊飯器	炊飯器	有・無
冷蔵庫	冷蔵庫	有・無
食料保管設備	食料保管設備	有・無
調理設備	調理設備	有・無
生活環境の衛生	生活環境の衛生	有・無
炊飯の供給	炊飯の供給	有・無

奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム, 2016年3月12日, 東京医科歯科大学



### 避難所に関する記録 例

項目	内容	状況
管理栄養士による被災者の情報	被災者の状況	有・無
避難所内での食料・飲料の管理状況	食料の管理	有・無
飲料水の衛生	飲料水の衛生	有・無
トイレ	トイレ	有・無
洗濯機	洗濯機	有・無
炊飯器	炊飯器	有・無
冷蔵庫	冷蔵庫	有・無
食料保管設備	食料保管設備	有・無
調理設備	調理設備	有・無
生活環境の衛生	生活環境の衛生	有・無
炊飯の供給	炊飯の供給	有・無

奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム, 2016年3月12日, 東京医科歯科大学

## 避難所情報の緊急入力項目

全国保健師長会 避難所チェックリストから抜粋

- ・避難所の概況
  - 避難所名、所在地
  - 避難者数
  - スペース密度
- ・組織や活動
  - 管理統括・代表者情報
  - 医療の提供状況：救護所、巡回診療、地域の医師との連携、保健士の活動
- ・環境的側面
  - ライフライン：電気、ガス、水道、電話
  - 設備状況と衛生面：冷暖房、照明、調理設備、トイレ
  - 生活環境の衛生面：屋内土足禁止、寝具、ペット対策
- ・食事の供給
  - 食事配給、飲料水
- ・配慮を要する人
  - 高齢者、妊婦、産婦、乳児、幼児・児童
  - 障害者、難病患者、在宅酸素療養者、人口透析者、アレルギー疾患児・者
- ・防疫的側面
  - 胃腸炎様症状（下痢、嘔吐など）、風邪様症状（咳・発熱など）、その他（麻疹など）

奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム, 2016年3月12日, 東京医科歯科大学

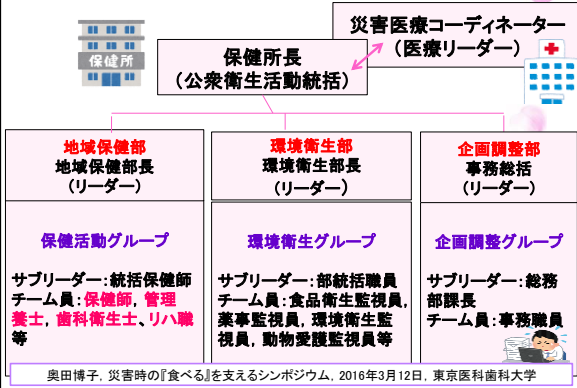
「食べる」を支えるための保健師による支援 今後必要なこと  
協働のための体制整備

## PHN 職能としての強み

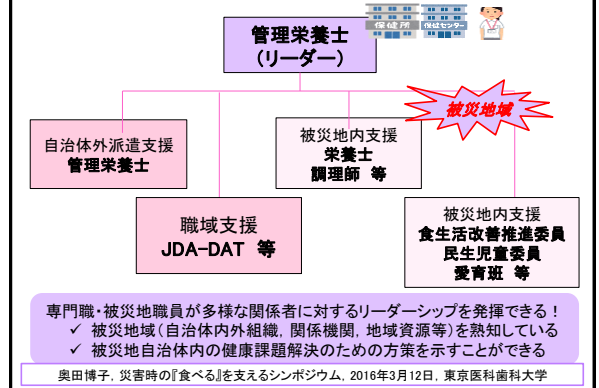
- ・マンパワー
  - 公衆衛生専門職の中で比較的人数の多い職種マンパワー
- ・地域特性把握
  - 地域診断（地域資源含む把握）
- ・アウトリーチ活動
  - 地図、訪問靴が7つ道具？
  - 個別、集団支援、関係機関連携・調整含む

奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム, 2016年3月12日, 東京医科歯科大学

## 災害時の自治体(保健所)の組織体制 例



## 専門職 チームリーダー



「食べる」を支えるための保健師による支援 今後必要なこと

- 共通の問題認識, 限られた人材等の中で効果的な支援を可能とするスキルの向上と理解の場づくり
  - ✓ 防災訓練にとどまらない教育・研修
  - ✓ 平常時からのコミュニケーション
  - ✓ 地域とともに協働支援への取り組み
    - ✓ 各専門職として
    - ✓ 専門職(職能, 団体)チームとして
    - ✓ 自治体内関係機関とともに
    - ✓ 公・民を越えた機関とともに

奥田博子, 災害時の『食べる』を支えるシンポジウム, 2016年3月12日, 東京医科歯科大学